

議会せきがはら

第

147

号



11月10日 関ヶ原町地内で不破郡消防連合演習が行われました。

2～5頁 ◆9月定例会

5～9頁 ◆一般質問

9～10頁 ◆委員会報告・議会日誌

- 関ヶ原町功労者の選定
- 平成25年度一般会計補正予算 71,548千円を追加
- 町の財政指標（健全化判断比率・資金不足比率）を報告
- 平成24年度決算 水道事業会計・病院事業会計を認定
- 一般質問で議員2名が町政を問う

平成25年第4回定例会は、9月6日から20日まで15日間の会期で開かれました。
本定例会では、人事案件、条例関係、補正予算、平成24年度各会計決算の認定などの重要案件について審議を行いました。

こんな事が決まりました

人事案件

☆町人権擁護委員の推薦につ

き意見を求めることについて

任期満了に伴い後任に次の

方が推薦されたので議会とし

て適任である旨答申しました。

☆関ヶ原町功労者の選定

次の方々の選定に同意しました。

*特別功労者

浅野 肇 氏

(大字 関ヶ原)

水向 都子 氏

(大字 関ヶ原)

《功績》

教職員を退職後、関ヶ原町教育委員会長を歴任され、

教職員時代の経験を活かし関

ヶ原町の教育のため献身的努

力を惜しまず、教育行政の発

展に尽くされた。

*特別功労者

浅井 健太郎 氏

(大字 関ヶ原)

《功績》

議員として6期の長きにわ

たり在職され希有なる実行力

を以て活動された。在職中は

4度議長として、その手腕を

大いに発揮し、議会の円滑な

運営に尽力された。また、町

長として2期にわたり関ヶ原

町のまちづくりの舵取り役と

して活躍され地方自治の発展

に尽くされた。

条例関係

☆地方税法の一部改正に伴う
関係条例の整備に関する条例
について

地方税法の一部を改正する
法律により、延滞金の割合に
ついての見直しが行われたた
め、地方税法を根拠に延滞金
を徴収する規定を設けている、
関ヶ原町国民健康保険条例、
関ヶ原町介護保険条例、関ヶ
原町後期高齢者医療に関する
条例の一部改正を行うもので
す。

☆関ヶ原町子ども・子育て会
議設置条例の制定について

子ども・子育て支援法第77
条において、市町村において
条例に定めるところにより、
審議の機関をおくことを努力
義務としており、条例を制定
し、27年度の施行に向け子ど
も・子育て会議の設置を図る
ものです。

補正予算

☆平成25年度一般会計補正予
算（第2号）

歳入歳出それぞれ7、
154万8千円を追加し、総
額46億9、862万7千円と
するものです。

※質疑一部抜粋

質疑

原発に備え甲状腺への放射
線障害を防ぐ安定ヨウ素剤は
年齢制限はないのか。また医
者の指示がないと服用できな
いところがあるというときの
体制はどこまで整えているか。

回答

40歳以上は飲んでも効果は
期待できないとあるが、どの
ような災害被害がおきるかわ
からないため、一応全町民分
確保する。また、緊急の場合
においては関ヶ原病院に保管
をし、医師の指示に基づくこ
うな体制を整えたい。

☆平成25年度 国民健康保険
特別会計補正予算（第2号）

前期高齢者納付金の支払い
額の確定により4万7千円を
追加するものです。

☆平成25年度 介護保険特別
会計補正予算（第2号）

介護給付費及び地域支援事
業費の精算に伴う返還金
240万6千円を追加するも
のです。

☆平成25年度 今須農業集落
排水事業特別会計補正予算
（第2号）

コンポストの処理施設維持
管理委託料73万6千円、肥料

用汚泥袋購入費16万8千円を
増額するもので総額90万4千
円を追加するものです。

☆平成25年度 後期高齢者医
療特別会計補正予算（第1号）

平成24年度保険事業費負担
金の確定により8万円を追加
するものです。

☆平成24年度 関ヶ原町の健
全化判断比率及び資金不足比
率の報告

地方公共団体の財政の健全
化に関する法律に基づき、町
の財政指標の報告がされまし
た。

実質公債比率13・6%

（昨年比プラス0・1ポイント）

将来負担比率78・2%

（昨年比マイナス11・5ポイント）

〔平成24年度 健全化判断比率〕

(単位:%)

項 目	健全化判断基準	(参 考)	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	15.00	20.00
連結実質赤字比率	－	20.00	30.00
実質公債比率	13.6	25.0	35.0
将来負担比率	78.2	350.0	

〔平成24年度 会計別資金不足比率〕

(単位:%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	－	20.0
病院事業会計	－	20.0
玉農業集落排水事業特別会計	－	20.0
今須農業集落排水事業特別会計	－	20.0
公共下水事業特別会計	－	20.0

※各会計とも資金不足額がない場合は「－」を記載しています。

※実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は「－」を記載しています。

※関ヶ原町の各指標については、法令の早期健全化基準と比較すると全て下回っており、健全な財政状態といえます。

平成24年度水道事業会計
及び病院事業決算について

監査委員の意見

監査委員

水野 清孝
子安 健司

平成24年度水道事業会計及び病院事業会計については8月13日、一般会計及び特別会計並びに基金運用状況の審査は8月23日に、歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査等に関係諸帳簿等と照合し審査した。

審査の結果、各会計とも関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、正確であることを認め、かつ予算の執行状況についても適正であると認められた。

決算認定

☆決算審査特別委員会を設置

平成24年度各会計歳入歳出決算の認定については、決算

審査特別委員会を設置し、委員会に付託して審査することとしました。

決算審査特別委員会委員

委員長 小谷 清美
副委員長 室 義光
委員 浅野 正
委員 田中由紀子
委員 松井 正樹
委員 澤居 久文
委員 川瀬 方彦

☆水道事業会計・病院事業会計決算の認定

会期中に決算審査特別委員会を行い、議会最終日に報告を受け審議した結果、両会計は原案どおり認定しました。



議会運営委員会

8月26日

9月議会定例会の会期日程等について協議決定した後、総務課長より提出予定議案の説明を受け、各委員から質疑を行い、適切な回答を得た。

続いて、「道州制導入に断固反対する意見書」について協議した結果、総務民生常任委員会へ付託した。

総務民生常任委員会

8月30日

9月議会定例会に上程される国道21号線に接する関ヶ原中学校用地取得について教育次長より説明を受け、各委員から用地に至った経過と取得単価について随時質問し適切

な回答を得た。また「請願第1号、敦賀発電所1号機・2号機、美浜発電所1号機・2号機の廃炉を求める請願について」の審議を行った。委員会としては、国の動きも定まっていない状態で結論を出す時期ではないとの判断から今後も継続的に審議していくことにした。

「道州制導入に断固反対する意見書」については、委員全員が意見書の発案に賛同し、今定例会最終日に議員発議として提案することを確認した。

決算審査特別委員会 (水道事業会計)

9月18日

水道環境課長より決算書及び決算資料に基づき、収入・支出の内容及び事業の概要報告等について詳細に説明を受け、慎重に審査を行った。

審査の過程において各委員より、未収金、不納欠損、有収率、漏水量と漏水調査、石

綿管の布設延長、減価償却費、企業償還金、今後の四拡事業を含めての運営計画等について質疑を行い、適切な回答を得た。

その結果、今年度は給水収益の減少や施設の老朽化による修繕費用の増加により赤字経営となったが、委員全員一致で本決算を認定するに異議なしとの結論を得た。

決算審査特別委員会 (病院事業会計)

9月18日

病院長から公立病院における医師の状況や経営全般について説明を受けたのち、事務局長より決算書及び決算資料に基づき、収入・支出及び事業の概要報告等について詳細に説明を受け慎重に審査を行った。

審査の過程において、各委員より、減価償却費等の現状、起償償還金の返済額のピーク時期について等質疑を

行い、適切な回答を得た。

その結果、今年度も昨年度に引き続き赤字決算ではあるが、地方の医療を取り巻く厳しい環境の中にあつての本決算については、委員全員一致で認定するに異議なしとの結論を得た。



関ヶ原病院

2人の議員が町政について一般質問を行いました。

小谷 清美 議員

幼保一元化（子育て支援）について

田中 由紀子 議員

1. 再度、住宅リフォーム助成の実施を
2. 笹尾山の観光事業を住民参加型に
3. ヤギ事業は廃止に
4. 老人福祉センターのお風呂を無料に

第4回定例会

一般質問
町政を問う



小谷 清美 議員

質問 幼保一元化（子育て支援）について

問

国は、幼保一元化の方針をもとに総合こども園の設置を法案化をした。都市部における待機待ち児童が多いことをうけて、すべての幼児童が入園できるようにすることが大きな目的とされるが、すでに垂井町では垂井東子ども園が開設されている。平成22年度に策定された「関ヶ原町次世代育成支援後期計画」の中で、「保育体制の充実を始めたとする多様な子育て支援を総合的、計画的に推進し子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てができる環境づくりに

行政、地域が一体となる必要がある。」とされている。その中で、

1. 施策の内容として

① 研修強化など保育士の資質の向上を図ります。

② 未満児保育内容の充実を図ります。

③ 一時保育など多様な保育ニーズの対応を推進します。

④ 幼稚園と保育所の統廃合による、幼保一元化を推進します。

⑤ 保育所施設の整備を図ります。

とあるが、各々の内容について、現状はどうなっているか。また、どのような検討をなされているのか伺う。

2. 子育て支援整備として、

⑥ 子育てコミュニティセンターの整備を推進します。

⑦ 広域での保育サービスの有効活用に努めます。

⑧ 留守家庭児童教室の内容を充実します。

とあるが、各々の現状と今後の取り組み方針について伺う。

参考 平成25年4月1日現在の入園児数

区 分	定員	入園児数 (人)					保育士数	調理師(員)数	建設年
		0歳～2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計			
東保育園	45	6	8	10	0	24	4	2	S52
北保育園	45	1	8	10	0	19	3	2	S57
今須保育園	45	3	6	11	10	30	4	2	S57
西保育園	60	23	13	21	0	57	10	2	S53
計	195	33	35	52	10	130	21	8	

答【町長】

① について、県の保育協会、

西濃保健所等外部団体が開催の研修に参加したり、また保育士自身が発案し各々の資質向上を図るための研修を開催している。研修内容も経験別や担当別、園児個人の症状に対する研修となっている。また、保育士だけでなく、調理師や調理員においても施設の衛生管理や食育等の外部研修等に参加をし資質の向上に努めている。

② について、延長保育を実施している西保育園では、未満児の途中入園の数が増加しており、受け入れの体制はしているが保育士の確保が難しいのが現状である。本町では、生後6カ月から未満児の受け入れをしているが、近隣市町村では生後2カ月から受け入れをしている保育所もあり、今後、

見直しや検討が必要になってくると考える。

③ 一時保育については、現在要望はないが、今後ニーズが高まってくることを想定し検討する。

④ 本町には4園の保育園、1園の幼稚園があり、園によっては顕著な在園児数の減少が見られる。就労する母親の増加、就労形態の多様化・核家族化の増加等さまざまな保育ニーズが求められる、今後はニーズ調査の結果を踏まえ子育て会議等で協議していきたい。

⑤ について、保育所については、現在東と西の保育園にて耐震診断を行っている。その結果で園児の安全を第一に考え、環境整備を図っていききたい。

⑥ 現在、子育てコミュニティは、中央公民館内で毎週火曜日、金曜日に実施しており10組から20組の親子が参

加している。季節の行事やさまざまな親子遊びの提案をし充実を図っている。当面は現施設の中で内容の充実に務めていく。

⑦ 広域の保育サービスの有効活用は数年前には利用があったが、現在は利用希望がない。

⑧ 留守家庭児童教室は、平成18年から開校したが、当初20名の定員も南北小学校の統合により平成22年から35名に増員となっている。現在は29名の利用である。今後の保育園と幼稚園との一体化した施設整備の動向によっては対象年齢や開設場所、運営に関して検討する時期がくると考えている。

再質問

・総合こども園にした場合、職員の資格は幼稚園教諭免許と保育士資格免許の併用が原則となるが、現在幼稚

園教諭免許のある保育士は何人いるか。

・保育所の整備について、西と東の保育園は雨漏りがひどく、修繕が必要であるが、町長は4園について、どの程度修繕が必要か、どういう順番で補強補修されるのか把握しておられるか。

・子育て支援について、現在中央公民館で週2回行われ内容も充実されているようだが、中央公民館と体育館は耐震性からも非常に危ないと前回も質問したが、公共施設について何を最優先して耐震補強をされようとしているのか。再度おたづねする。

・各保育園の入園児童が少子化の関係でかなり減つてくるといだが、特に北保育園については、10名、11名というような人数になつてきたとき、町長は統廃合も含めどう考えていられるのか伺つ

答〔町長〕

私の知っている限りでは、保育士全員が保育園と幼稚園の資格を持っているという認識をしている。保育園の修繕については、今回行っている耐震診断の結果により判断させていただく。

公民館の耐震の問題については、改修は当然必要であるが、子育て支援も施設の一部として取り扱うのか外に出して新たに設けるのか今後の検討課題である。施設を新たに建てるほどの財政的な余裕はないので、現在の形でいけばありがたい。

保育園の入園児童数の減に伴つての将来について、早いうちに人数が激減する状況で各園で保育を同じようにやっていく効果、子どもの成長等検討する時期にきていると思う。子どもはたくさんの中でもまれながら成長していくほうがいいという考えているので

一時的にも休園とか、将来的には統合という形もあり得るというふうに考えている。

再々質問

北保育園については、出生数がだんだんと減つてきている。町長は個人的な見解として、いずれは統廃合もあり得るといわれたが、私は地域の中で見守られその役割は大きいと思うので、私的には絶対に休園・統廃合は困るというのが私の願いだが、経済性、採算だけで統廃合するべきではないと思うがいかがか。

答〔町長〕

小谷議員の個人的な思いと捉えさせていただく。園があるという形だけでは子どもの成長に非常に大きな問題であると思う。経費ということだけではなしに子どもの成長に何がいいかという観点から今後進めさせていただく。



田中由紀子 議員

質問 1

再度、住宅リフォーム助成の実施を

問

3月の町長答弁では、制度の効果を認めつつも財源の確保、業者の資格選定、工事の内容、所得制限、工事の確認方法等検討課題をあげられたが、その後、検討はされたのか伺う。

答〔町長〕

まだ検討課題をクリアする段階に至っていない。引き続き検討させていただく。

再質問

近隣市町村では養老町、海津市、揖斐川町、垂井町と実施されている。それぞれ住環境の向上と地域の活性化で緊急対策として取り組んでいる形だと思うが、いつごろまでにやっていたただけるか。

答〔町長〕

リフォーム助成については所得、工事の施工対象等検討課題が多いが、ある程度の見込みがついた段階で早ければ来年の予算にのせて運営ができればいいと考えている。

質問2

笹尾山の観光事業を住民参加型に

笹尾山、北小の一角で観光事業が行われているが、来年度以降は国の交付金がつかないと聞けるが、笹尾山が観光の

拠点という位置づけから規模は縮小になったとしても観光事業は継続する必要があると思うが町長の見解を伺う。継続する一つの方法として、住民グループに運営主体になっ

てもらい住民参加型のイベントや物産販売等交流館もそのまま生かした形でできないか伺う。

答〔町長〕

今年度より「笹尾山交流広場」という名称で参加型のイベントや甲冑体験、観光案内、物産販売等を委託した業者が企画運営する形で行っている。来年度以降の補助事業の見直しは非常に厳しいと聞いているが、何らかの形で笹尾山のイベント事業は継続したいと考えている。住民が参加する形で事業を行うことは非常に大切であると考えている。住民グループが運営主体となつて継続してはどうかに

ついては、総論的には結構だがどのような企画の基で行うのかわからない現状ではまだまだ疑問が多々ある。

再質問

町の色々な行事のある時に、グループをつくって参加したり、町長に提案があつたときには十分検討していただけるか伺う。

答〔町長〕

行事全体をコーディネートすることのうえで運営を図ることが大事であり、住民の方がどのような形で参画していただけるかを検討しなければならぬ。

質問3

ヤギ事業は廃止を

平成24年度から交付金がつ

かず町単独事業となり、昨年度決算資料によると約2、000万円の赤字である。費用対効果からいってもヤギ事業は破綻していると思うが事業廃止に向け早く決断すべきではないか伺う。

答〔町長〕

耕作放棄地対策として除草効果を検証する目的で事業着手し、今年6月から農家の方への貸出業務を行っている。副産物としてつくったヤギアイスが特産品化し定着している中でさらなる特産品の開発に積極的に取り組み、ヤギ事業のあり方を総合的に再検討している。直ちに事業を廃止する考えはない。

再質問

ヤギアイスについて、前町長は23年12月の答弁で、23年度のアイスの売り上げが乳量不足で売り上げ予算の半分弱

であり、24年度は種のついたヤギが30頭いるから乳量も増え売り上げは決してマイナスにはならない見込みであると答弁されているが、実際に24年度の乳量はどうかだったか。商品は全部売れたのか。人件費はなぜ抑制できなかったのか伺う。

答〔町長〕

前町長の見込みであり、アイスだけに限していえば確かに30頭で余裕があつたというところで判断している。人を減らして運営を始めたがやはりローテーションを組む必要があると判断し途中から職員を増やしている。

答〔地域振興課長〕

年間売り上げはここ3年ほど1、100万円程度、今年度もそれくらいになると思われる。アイスについては、在庫は抱えている。

細かい数字は今把握してないが1個300円で3万から4万個売れる。その1〜2割の在庫となる。

再々質問

公的な自治体が営業することとは本当に難しいし無理ではないかと思う。耕作放棄地対策もうまくいかず、アイスの赤字も町民には説明できないしヤギ事業は廃止すべきと思うが再度答弁を求める。

答〔町長〕

耕作放棄地対策事業という観点からみると当初の計画どおりでないことは認識しているが、アイスクリーム事業としては、観光客やテレビ放映の効果もありアイスを求める来てくださる方も多分にあることも事実である。この事業を継続させる方策を検討する段階にきていると考える。公的機関の営業は難しいがいかにしたらうまくいくかと検討しながら進めさせていたきたい。

にしたうまくいくかと検討しながら進めさせていたきたい。



質問4

老人福祉センターのお風呂を無料に

問

平成21年11月からお風呂が有料になり、少ない年金暮らしの方には負担である。老人の健康増進、老人福祉の向上に寄与することに目的がある。この目的に沿ってお風呂も無料に戻していただきたい。また、生活保護基準以下の所得者には減免すべきと思うが見解を伺う。

答〔町長〕

昨年、お風呂の運営、維持管理に多額の費用を要している。現在お風呂の利用者は20名程度で、お風呂のサービスを継続させるため有料化を導入したもので、全員無料化にすることは考えていない。

再質問

維持管理に多額の費用がかかるというが、有料化によりどのくらい助かるのか伺う。

答〔町長〕

週3回毎回で20人として60万円くらいの費用になる。特定の方だけのご利用である現状の中で、存続の是非を考えると料金をいただき存続を図りたい。

再々質問

せめて生活保護基準以下の方の無料化を実現していただきたいが伺う。

答〔町長〕

現在利用されている方の実態からみると他の方がなかなか行けないという状況でもある。現状での利用人数においては若干の利用負担をお願いして存続させていきたい。



老人福祉センター内お風呂

自治功労者表彰 を受賞

10月11日、岐阜県町村議会議長会定期総会の席上、自治功労者表彰授与式が行われました。

本町議会から、松井正樹議員が多年（在職十二年以上）にわたり地方自治の振興と発展に尽力された功績により表彰を受けられました。



松井議員

議会活動日誌

【8月】

3日 岡崎観光夏まつり

花火大会

10日 商工会納涼夏まつり

18～20日 西南濃議会議長会

県外研修

26日 議会運営委員会

29日 岐阜県町村議会議長会

評議員会

30日 総務民生常任委員会

31日 町防災訓練

【9月】

6日 第四回議会定例会

(初日)

14日 今須小中学校運動会

関ヶ原中学校体育大会

18日 決算特別委員会

20日 第四回議会定例会

(最終日)

22日 関ヶ原小学校運動会

【10月】

3日 町ゲートボール・パター大会

5日 関ヶ原まつり合戦相撲大会

7日 西南濃議会議員合同研修会

11日 関ヶ原町戦没者追悼式

11日 岐阜県町村議会議長会

11日 定期総会及び町村議会

13日 町民体育祭

19～20日 関ヶ原合戦祭り



西南濃議会議員合同研修会

道州制導入に断固反対する意見書

我々町村議会は、平成20年以来、町村議会議長全国大会において、その総意により、「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと。」を決定し、本年7月18日には、「道州制は絶対に導入しないこと。」とする要望を決定し、政府・国会に対し、要請してきたところである。

しかしながら、与党においては、道州制導入を目指す法案の国会への提出の動きが依然としてみられ、我々の要請を無視するかの動きをみせている。

これらの法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高い。道州はもとより再編された「基礎自治体」は、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民生活を支えるため、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地域産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々関ヶ原町議会は、道州制の導入に断固反対する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月20日

岐阜県不破郡関ヶ原町議会議長
中 川 武 子

衆議院議長様
参議院議長様
内閣総理大臣様
内閣副総理大臣様
内閣官房長官様
総務大臣様

あなたも議会を
傍聴してみませんか。

12月定例会初日は

12月5日(木)

開催の予定です。



年賀状欠礼の
お知らせ

公職選挙法第四十七条の二の規定に基づき、年賀状による新年のご挨拶を欠礼させていただきます。

皆様には何かと失礼に当たる面もあるかと存じますが、宜しくご理解賜りますようお願い申し上げます。

関ヶ原町議会

議員一同